

保育ニーズに対する供給量について

平成31年度における定員比較による需給差

	平成31年度
保育所希望者 (2・3号認定)	1,559人
保育所定員	1,285人
保育所の 最大入所人数	1,477人
定員との 需給差	△274人
最大入所人数 との需給差	△82人

定員との需給差 $\Delta 274$ 人

最大入所人数との需給差 $\Delta 82$ 人

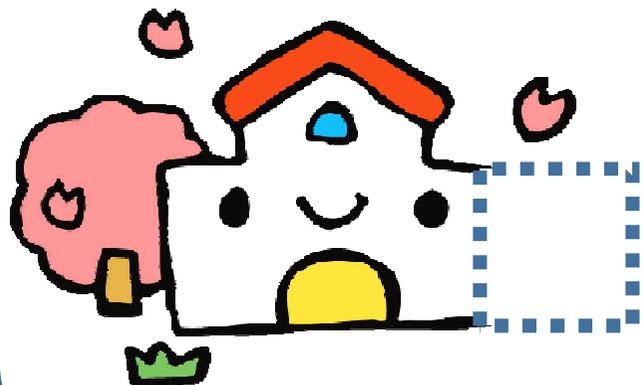
※ 上記需給差の中間値 $\Delta 178$ 人

目標数値 180人

供給量確保プラン案①

確保人数 177名

私立保育園の定員増
30名



私立保育園の新設
90名



社会福祉法人による
小規模保育の実施
19名×3ヶ所 57名

3歳未満児対象・実施施設例



A 幼稚園



B 幼稚園



C 幼稚園

施設整備費
運営経費（10年間）

48,200千円
602,900千円

計

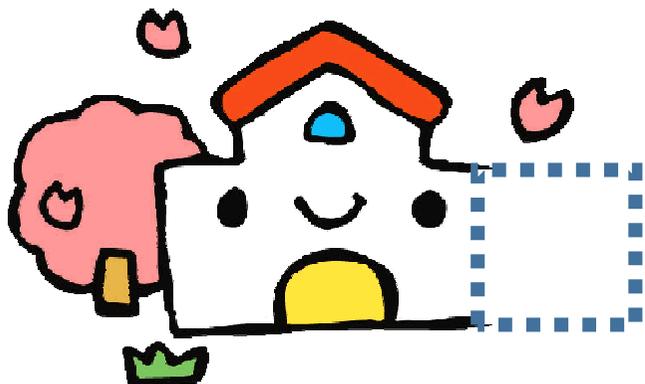
651,100千円

平成26年4月に国が示した公定価格のイメージより試算
場合によっては幼稚園を認定こども園に移行し3歳以上児の受け入れ先を確保

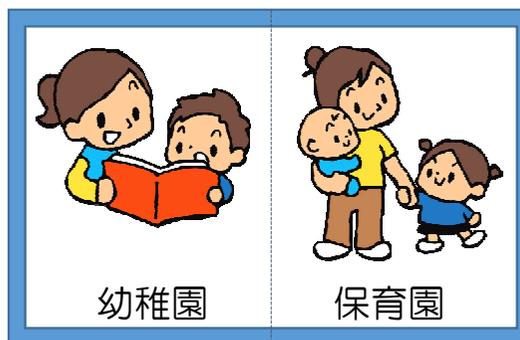
供給量確保プラン案②

確保人数 **180名**

私立保育園の定員増
30名



幼稚園を社会福祉法人に譲渡(貸与)し
私立認定こども園開設
3ヶ所 150名(60名 2か所・30名 1か所)



想定される施設例

総社北幼稚園	と	スマイル保育園
常盤幼稚園	と	中央保育所又は あのね保育園
服部幼稚園	と	太陽保育園
秦幼稚園	と	すずらん保育園
山手幼稚園	と	山手保育園

施設整備費	31,400千円
運営経費(10年間)	824,700千円

計 **856,100千円**

平成26年4月に国が示した公定価格のイメージより試算

供給量とは別に考えていかなければならない対策

井尻野幼稚園と総社保育所を
認定こども園として新設
又は各園で改築



平成26年度中に清音幼児園を
認定こども園へ移行

